



#笑うアシカ@シーワールド



#撮影用パネル@八千代



#茶席体験@市川

成人式もインスタ映え

8日の成人の日を前に、県内各地で7日、成人式が開かれた。晴れ着姿の新成人たちは旧友や恩師との再会を喜び合い、「自撮り写真」をすぐにSNSのインスタグラムに投稿。学校の教室のセットや茶席体験など、自治体も「インスタ映え」を狙った会場を設けて記念日に花を添えた。

八千代市の成人式。「何これ。面白そう」。会場の入り口にインスタグラムの画面をかたどったパネルが置かれていた。大学2年の村井麻菜美さん(19)は式典前、同級生2人とパネルにおさまり、別の新成人に自分のスマホで撮影してもらった。写真はすぐにインスタグラムに投稿。

「今日から大人の仲間入り。自覚を持たなくちゃ」と背筋を伸ばした。一角には机やランドセルを並べた教室のセットも。専門学校に通う宮沢捺美さん(19)は中学時代の友人4人と椅子に腰掛け、自撮り写真をパシャッ。「この間まで小学生だったのに、4月からは社会人。両親に早く親孝行したいです」

式典を企画した大学2年の林真由さん(20)は「みんなが思わず写真を撮りたくなる仕掛けをつくりたかった。SNSに投稿して、お世話になった人に晴れの姿を見てもらってほしい」と話した。市川市は茶席体験を企画した。式典会場の約10畳の和室で、地元の茶道会の先生たちが新成人にお茶や和菓子を振る舞った。晴れ着姿の新成人たちは、慣れない作法にとまどいながら一服。お茶を飲み干すと、掛け軸や花瓶を背景に仲間たちと自撮りにいそしんだ。「茶道を体験したのは初めて。振り袖で参加できて良かったです」。大学2年の橋本涼香さん(20)は今年

度の学費をアルバイト代で賄ったという。「お金の大切さや勉強できるありがたみが分かった。少しずつ自立したい」。鴨川市の式典は鴨川シーワールドで行われ、恒例となった「笑うアシカ」のカンジとの記念撮影には長い列ができた。専門学校生の鈴木菜緒さん(20)は友人4人と撮影し、晴れ着姿の自分たちの後ろでカンジがにんまり。「ふだんLINEを交換している友だちに送ります」と話した。昨年の流行語大賞に選ばれた「インスタ映え」。成人式での写真が映えるかどうかは、晴れ着選びから始まっている。

八千代市の大学生、阿部果南さん(19)はミントグリーンに花やまりの柄をあしらった古典模様の振り袖を選んだ。頭には帯と同色のピンクの大きな花飾り。貸衣装店で2時間悩んで選んだという。「人気の赤色にするか迷いましたが、自分に似合う色で個性を出したかった」とほほ笑んだ。茂原市の振り袖専門店「みかわや茂原店」の山崎哲弘店長(55)によると、大きな柄の華やかな振り袖が年々好まれるようになってきているという。「仲間と撮るとカラフルになって写真映えする。誰とも違う自分のお気に入りの振り袖で、晴れの日に臨んでもらいたい」と話した。

(松島研人、村井隼人、川上真、白見はる菜)

県内新成人6万2988人 2年ぶり減

県が市町村を対象に行った調査によると、今年度の県内の新成人(1997年4月2日～98年4月1日生まれ)は前年より522人少ない6万2988人(前年比0.8%減)で、2年ぶりに減少した。市町村別の新成人数は、多い順に千葉市9757人(前年比14人増)▽船橋市6288人(同105人増)▽松戸市4913人(同40人減)▽市川市4534人(同128人増)▽柏市3974人(同128人減)。県の調べでは、県内54市町村のうち2町が6日、44市町村が7日に成人式を開催。8日は千葉市や船橋市など8市が予定している。(滝口信之)